

# かたぐるま

ひと 未来 輝いて

2023 October

NO. 109



生活介護事業所まある利用者の作品

## 特集

### ● 「希望が丘地域福祉支援センター」 移転

## トピックス

- 令和4年度事業報告（概要）及び決算報告
- 令和5年度役員及び評議員
- 各施設の取組
- ワークショップ明星園からのお知らせ



# 『希望が丘 地域福祉支援センター』移転

この度、希望が丘地域福祉支援センターは令和5年6月1日より旧高山小学校へと移転しました。2018年に閉校した校舎を改修し、利用者が活動や作業のしやすい環境を整えています。今後も、地域の皆様とのつながりを大切に、福祉の充実を図ってまいります。

地域や関係者の皆様のご協力とご理解により、事業所を無事に開所できましたことに心より感謝申し上げます。また、地域の住民に愛され続けてきた町立高山小学校は、福祉事業所としてどのように変身し活用されているか、開所後から100名を超える見学があり、関心と期待を感じたところです。

新しい希望が丘地域福祉支援センターは、天井が高く、採光に恵まれている広々とした廊下や、新設のエレベーター、男女別の浴室など、既存の建物特性を最大限に生かして活用させています。

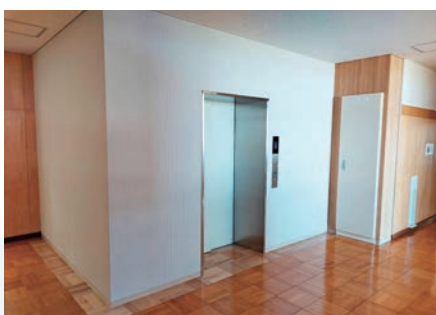
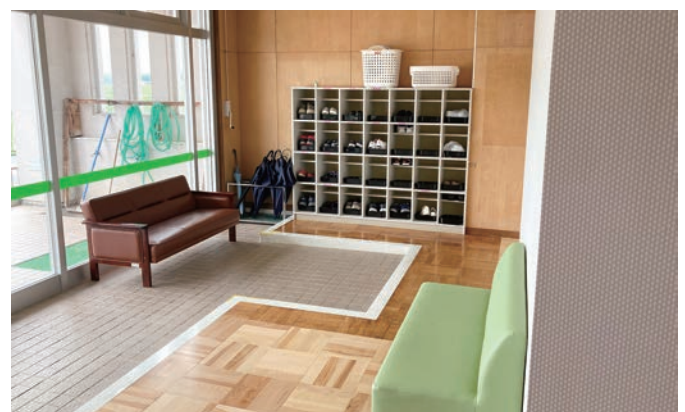
これからも周辺地域の新たなニーズとマッチングを図りながら、効果的・効率的活用をし、地域に愛される事業所を目指していきたくと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

所長 濱田 鈴

## 事業所概要

事業所名：希望が丘地域福祉支援センター  
 提供サービス：希望が丘デイサポートまつかぜ 生活介護（30）  
 （定員） 希望が丘川西共同生活事業所（29）  
 希望が丘東置賜共同生活事業所（30）  
 住所：東置賜郡川西町大字高山1913番地  
 （旧高山小学校）  
 連絡先：TEL 0238-27-9707  
 FAX 0238-27-9705





## 現場の声

## 職員

- ・閉校となった小学校を活用した点は面白い発想だと感じたことと、学校の懐かしさを感じた。
- ・活動室の部屋も大きくなり、できることが増え視野も広がった。
- ・今まで2つに分かれていた活動室が1つになり、利用者を見渡すことができとても良くなった。職員同士の声かけも多くなり、情報共有がしやすくなった。
- ・玄関にスロープがあることで利用者の安全面への配慮や、エレベーターの設置や浴室の新設等ハード面の良さが利用者ファーストだと感じる。
- ・利用者から「思ったよりもお風呂が大きかった。食事でも今までどおりまつかぜ荘の料理を食べれて良かった。」との声が聞けて良かった。

## 利用者

- ・建物が広くてきれいでとても良い。清潔に感じる。
- ・お風呂もきれいで広くて、気持ち良く入ることができる。
- ・トイレが広くてきれい。
- ・食事がおいしい。
- ・活動場所も広くて気持ちいい。



## 令和4年度 事業報告（概要）

令和4年度は、各施設事業所において、利用者の確保と経費の削減に取り組みました。

依然として新型コロナウイルスの影響がありましたが、職員一人一人の努力により事業を長期に休止することなく継続することができたことから、事業活動収入は前年度比1.1%増加しました。一方、物価高・エネルギー価格高騰の影響により、事業活動支出は前年度比2.6%増加しました。

人材育成については、感染防止対策を講じながらも、オンラインを活用した研修等の実施など、これまでどおり「利用者の権利擁護の推進」、「個別支援の充実」と職員の倫理観や価値観の向上に取り組みました。

「将来構想に基づく後期5か年実行計画」については、実施2年目として引き続き、実行計画の推進を図るとともに、「プロジェクトA・B・C」において実績の評価と課題を検討し、「経営改革本部会」においてプロジェクトの検討結果について審議しました。

## 令和4年度 決算報告

### 令和4年度資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
事業活動収入計	6,996,110,802
事業活動支出計	6,660,783,051
事業活動資金収支差額	335,327,751
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	604,096,920
施設整備等支出計	679,180,800
施設整備等資金収支差額	△ 75,083,880
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	114,845,638
その他の活動支出計	390,805,121
その他の活動資金収支差額	△ 275,959,483
当期資金収支差額合計	△ 15,715,612
前期未支払資金残高	1,828,341,420
当期末支払資金残高	1,812,625,808

### 令和4年度事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決算額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	6,995,576,539
サービス活動費用計	6,805,782,501
サービス活動増減差額	189,794,038
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	8,702,291
サービス活動外費用計	5,535,307
サービス活動外増減差額	3,166,984
経常増減差額	192,961,022
特別増減の部	
特別収益計	602,155,913
特別費用計	600,393,876
特別増減差額	1,762,037
当期活動増減差額	194,723,059
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,372,314,136
当期末繰越活動増減差額	2,567,037,195
基本金取崩額	0
その他積立金取崩額	81,412,000
その他積立金積立額	320,032,000
次期繰越活動増減差額	2,328,417,195

### 令和4年度貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	2,288,829,394	流動負債	788,299,587
固定資産	9,407,398,302	固定負債	1,447,018,004
		負債の合計	2,235,317,591
		純資産の部	
基本財産	5,985,026,903	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	5,147,334,469
		その他の積立金	1,975,158,441
その他固定資産	3,422,371,399	次期繰越活動増減差額	2,328,417,195
		(うち当期活動増減差額)	194,723,059
資産の部合計	11,696,227,696	純資産の部合計	9,460,910,105
		負債及び純資産の部合計	11,696,227,696



## 令和5年度 役員及び評議員 (令和5年8月1日現在)

### ◎役員

職名	氏名	現職
理事長	加藤 亮	専任
常務理事	荒木 歩	専任
理事	伊藤 陽介	浜田・伊藤法律事務所 弁護士
理事	新澤 陽英	公立置賜南陽病院 医師
理事	深瀬 善信	総合コロニー希望が丘 所長
理事	佐藤 保政	総合施設かるむの里 所長
理事	佐藤 陽一	特別養護老人ホーム福寿荘 荘長
監事	大泉 享子	山形県労働委員会 委員
監事	矢口 俊雄	元公益財団法人山形県生涯 学習文化財団 専務理事

### ◎評議員

氏名	現職
阿部 清彦	山形県老人福祉施設協議会 副会長
江口 拓也	社会医療法人二本松会 山形さくら町病院院長
金子 正美	川西町社会福祉協議会 会長
菊地 義隆	山形県知的障害者福祉協会 副会長
佐藤 啓之	遊佐町社会福祉協議会 常務理事
澤邊みさ子	東北公益文科大学 教授
玉木 康雄	山形県社会福祉協議会 会長
福田 香	山形県身体障害者福祉協会 事務局長
前川 孝子	フリーアナウンサー

(※五十音順)

## 令和4年度実践報告会を開催しました

長年、当事業団では、サービスの向上を目指して取り組んできた日頃の実践について、改めて分析・評価することで、専門性の継承と職場の活性化の推進を目的として実践報告会を開催しています。

昨年度に引き続き、令和4年度はオンラインで実施しました。助言者には、山形県総合コロニー希望が丘所長、総合施設かるむの里所長の他に、令和元年度よりご協力いただいている東北公益文科大学の鎌田剛准教授をお招きし、発表施設に対し、ご助言・講評をいただきました。各施設の取組や助言者からの具体的なアドバイスを、職種を越えて共有することができました。

なお、吹浦荘の作品については、全国社会福祉事業団協議会主催の実践報告・実務研究論文において、『優良賞』を受賞しました。

今後も、多職種で分析・検証を深め、さらなるサービスの質の向上を目指していく所存です。今後も当事業団は、実践研究を通して専門性の継承と職場の活性化を推進してまいります。

助言者をお引き受けいただいた鎌田剛准教授に、あらためて御礼申し上げます。

### 令和4年度実践報告会

	施設名	テーマ
最優秀賞	障害者支援施設 山形県吹浦荘	未来へのステップアップ
	特別養護老人ホーム 寿泉荘	SDGs ～ Sustainable Diets Goals 持続可能な食事目標～
優秀賞	特別養護老人ホーム 大寿荘	調理現場の働き方改革
	救護施設 山形県泉荘	身近なところからコツコツと ～イズミーズ～
	山形県総合コロニー 希望が丘しおり	安心で安全な服薬支援を目指して
	山形県総合コロニー 希望が丘まつのみ寮	まつのみ寮で栄養ケアマネジメントを実施したらこうなった！ ～食事を楽しみ健康な生活を送る～

## ●各施設の取組

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症については、5月8日から、感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。これにより、新型コロナウイルス対策は個人の自主的判断と行動が基本となりました。しかし、新型コロナウイルス自体の収束はしていないため、今後も当事業団では、これまでのコロナ禍で学んだ経験を基に、日常の中で利用者とともに感染対策を実践してまいります。

今回は、各施設で開催された行事や日常の様子をご紹介します。



### 福寿荘 「笹巻を作りました」

緑が美しい6月。地域で昔から作られてきた笹巻の季節です。当施設ではこれまで、食生活改善推進委員の方々にお越しいただき、利用者と一緒に笹巻を作っていましたが、コロナ禍により職員と作るようになりました。

笹の葉を手にし、生き生きとした表情で「立派な笹の葉だごと」「おらえのとこさも笹の葉いっぺあかった」「餅米3升もうるがし、作って送ったもんだ」と利用者との会話が自然と広がります。笹を巻くのが苦手な方がいれば、葉先をハサミで切り、巻きやすいようにする場面もあり、皆さんで協力して笹巻ができあがります。

完成した笹巻は、やさしくゆっくり煮て、おいしく食べていただきました。

管理栄養主査 佐藤 千章



### 米沢共同生活事業所 「季節の行事を通して」

主査 加藤あゆみ

米沢共同生活事業所のホームは米沢市内に3か所あります。その中でも、重度対応型グループホーム「ぼっけ」は米沢市の中心に近く、障がいの程度に関わらず地域で生活できる場となっています。

4月には、コロナ禍で行うことができていなかったお花見を行いました。高畠町にある道の駅までドライブを楽しみ、桜を眺めながらお花見弁当を食べました。グループホームの皆さんで外出する機会が減っていたため、久しぶりに皆さんでの外出となりました。外で食べるお弁当は「おいしかった」と嬉しそうにされていました。

これからも感染症対策を継続しながら地域で楽しく生活できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



## 慈丘園 「季節を感じて」

援助員 土門はんな

昨年度はコロナ禍で制限がかかる生活が続きましたが、利用者と職員が一緒に楽しめるよう工夫し活動を提供しました。

園内では健康運動や創作活動など日常の活動メニューを提供するとともに、気分転換になるよう四季折々の行事を企画し、七夕、慈丘園祭（11月）、クリスマス、お正月などを皆でお祝いしました。

少人数に分けて外出も実施しています。街なかへの買物外出では、ファーストフード店や地元で人気のパン屋さんに出かけて好きなメニューをテイクアウトし、皆でおいしく食べました。また、海も山も近い庄内の土地柄を生かし、春は三川町で菜の花の花見、夏は湯野浜海岸沿いのドライブ、秋は櫛引地区の果樹園でのぶどう狩りを楽しんでいます。



## だいまち 「だいまち第2章」

援助主査 遠藤 輝昭

現在の場所に移転して、2年目を迎えました。就労継続支援B型では、定員を10名に変更して事業を行っています。仕事内容は、①リサイクル缶の選定・つぶし・搬出②カタログギフトの箱折り③園児服のボタン付け④市報の仕分け⑤自動車部品の金属部分外し⑥農園での作業補助となります。生活介護では、日ごとに違った活動メニューを準備して、毎日の楽しみが増えるよう支援を提供しています。活動の中でも1番人気は買物で、他にもドライブやカラオケ、ゲーム、音楽レクも人気があります。月に1回、近くの体育館でのスポーツ教室にも参加して、汗をかきながら夢中になって楽しんでいただいています。



## ふれんず 「過ぎたるは猶及ばざるが如し」

援助主査 根川 裕嗣

約3年の月日を経て、ようやく新型コロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類へと移行しましたが、まだ日常を取り戻すことに対する躊躇が感じられます。ふれんずでは、過剰な感染症対策ではなく『日常生活を楽しむ』ことを心掛けています。また、この3年間で利用者は、感染予防としてマスク着用が習慣化されています。気温が上がってきている今日この頃でもマスクを外すことに躊躇がみられるため、職員から「気温が高い時、息苦しい時はマスクを外してください」と発信し、十分な換気などの対策をしながら熱中症予防に取り組んでいます。感染症を恐れるあまり、熱中症や酸素不足に陥っては本末転倒です。

これからは、今まで失っていた外出や外食など大勢で楽しみを共有できる機会を多く持ち、彩りある生活の一端を担わせていただきたいと思います。





# ワークショップ明星園 自主製品の紹介

帆布ツートントートバッグ  
**1,760円**

メッセージカード  
**110円**



ハーバリウム  
**1,100円**

メモ帳(2冊セット)  
**330円**

レザーペンケース(横)  
**1,980円**

ワークショップ明星園では、紅花染め製品や縫製品の外、メッセージカードやメモ帳も販売しております。可愛いワンポイントのイラスト付き！「贈答品にメッセージを添えて…」「大切なメッセージとともに…」ぜひ一度お手にとってご覧ください。

なお、「ぐっと山形」と「山形県庁 地下売店」で常時販売をしております。(販売会、マルシェ等にも出店予定です。詳しくはHPで。)

山形県社会福祉事業団ホームページでは、施設情報や職員採用情報を随時更新しています。

URLはコチラ↓  
<https://www.ysj.or.jp>



山形県社会福祉事業団では  
感染対策を徹底しています



※掲載写真の一部は、撮影時のみマスクを外しています。